

ひびきあい

学校教育目標
「やさしく かしく たくましく
自分のよさを生かして
未来を創ろうとする子ども」
の育成

令和8年5月8日 校長 重松 景二

愛でいっぱい、学びでいっぱい、遊びでいっぱいの学校にする
アップデートしよう（未来を創る子どもたちのために）

GW明けは子ども達元気かな…

4月の疲れを吹き飛ばすゴールデンウィークが過ぎました。休み明けの昨日、朝の登校の様子は、どこことなく元気がないように感じられました。5月病という言葉もあるくらいですから、もう少し休みたいという気持ちもあるのでしょう。2日登校して、また休みです。少しずつエネルギーを



ためながら、これからの学校生活を楽しんでほしいものです。学校ではよく、「4月に戻る」といったことがささやかれます。学級や担任に慣れ、ルールや日々の流れも身につけてきた頃に5日間の休みが入るため、「振り出しに戻る」ように感じることもあるでしょう。それでも、少しずつ取り戻していければよいのではないかと思います。心配なことがありましたら、遠慮なく担任までお知らせください。



自分の命は自分で守る 交通安全教室を行いました…

4月21日（火）に交通安全教室を行いました。ここ数年は雨のため屋外での指導ができませんでしたが、この日は天候に恵まれ、予定どおり実施することができました。はじめに、オンラインで警察の方のお話を聞きました。



歩行時や自転車運転時のルールについて、分かりやすく説明していただきました。その後、低学年は実際に校外に出て歩きながら横断歩道の渡り方などを確認しました。中学年は運動場の模擬交差点で、高学年は校外に出て自転車の乗り方について確認しました。



PTAのボランティアの皆様にもお手伝いいただきました。お忙しい中ありがとうございました。

めざす学校の姿 ひがしせふり…

第2号では、めざす学校のそれぞれについて紹介しました。今回は、「ひがしせふり」を使ったアクロスティックで、めざす学校の姿をより具体的に示していますので、ご紹介します。右下の枠がめざす学校です。

「ひびきあい」は、お便りでも使っている言葉ですが、心の交流を指しています。「がんばりを認め合う」は、お互いを大切にすることを意味しています。「しっかり考え抜く」は最後まであきらめないこと、「せいいっぱい挑戦する」は自分の力を出し切ることを指しています。また、「ふしぎに会う」は、子どもたちが不思議を追いか求めたり、不思議と出会える機会を提供したりすることを意味しています。「りょうていっぱい楽しむ」は、子どもたちが自分で楽しみを見つけたり、周囲から与えられたりしながら、存分に楽しむことを指しています。

「愛」と「学び」と「遊び」をうまくミックスしながら、よりよい東脊振小学校になっていくことを願っています。

ひびきあいを大切にする学校
がんばりを認め合う学校
しっかり考え抜く学校
せいいっぱい挑戦する学校
ふしぎに会う学校
りょうていっぱい楽しむ学校